

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
庁内関係各課へ事後評価をまとめた資料を回覧して内容を報告した。		令和5年6月	
		公表の方法	
		駒ヶ根市ホームページ	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>①医療拠点へのアクセス短縮率を指標とした。H28計画時点での現道から医療機関までの所要時間は6分26秒に対し、事業供用後における所要時間は3分33秒と2分53秒短縮しているため、当初に対して45%の短縮効果があった。</p> <p>②2年に1度実施している市民満足度調査の調査項目である「専門医療や救急医療をいつでも受けることできる」の市民満足度を指標としたところ計画時29ptに対しR3調査満足度は31ptへ市民満足度は上昇し、目標の30ptを達成した。</p> <p>③2年に1度実施している市民満足度調査の調査項目である「地域に安心できる防砂の仕組みがある」の市民満足度を指標としたところ計画時320ptに対しR3調査満足度は340ptへ市民満足度は上昇し、目標の325ptを達成した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

令和5年度中に最新の市民満足度調査の結果が公表されるので、R3時点と最新数値の比較を実施する。

○目標値の達成状況

番号	指標（略称）	
	目標値/実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	駒ヶ根市役所（防災拠点）から昭和伊南総合病院（第3次緊急医療施設、災害時医療拠点）までの時間短縮効果（アクセス時間短縮率）を30%短縮させる。	
	最終目標値	30%
	最終実績値	45%
2	医療に対する市民の満足度を上げる。	
	最終目標値	30pt×10
	最終実績値	31pt×10
3	防災機能に対する市民の満足度を上げる。	
	最終目標値	325pt×100
	最終実績値	340pt×100
4		
	最終目標値	
	最終実績値	